

Ⅶ 調査票

男女共同参画社会づくりのための  
佐賀県民意識調査

令和元年10月

調査主体 : 佐賀県健康福祉部男女参画・こども局  
男女参画・女性の活躍推進課  
調査実施機関 : 株式会社東京商工リサーチ佐賀支店



## ご記入上のお願い

この調査票の記入は、宛名ご本人様で行ってください。

回答は、この調査票に直接、黒または青のボールペンでお書きください。またはインターネットによる回答も可能です。

回答は、質問ごとの選択項目から、あてはまる番号に○印をつけてください。

その他を選んだ場合は、その内容を具体的に( )内にお書きください。

回答数が「3つまで」としている場合は、選択数は1つでも2つでも3つでも結構です。

## 調査票の返送にあたって

回答済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、

**令和元年11月2日(土)まで**

郵便ポストへ御投函ください。(切手は不要です)

また、下記アドレスからインターネット上でも御回答いただけます。その際は調査票の返送は不要です。

アドレス：[http://www.pref.saga.lg.jp/dynamic/entry/pub/ansform.aspx?c\\_id=76&entry\\_ins=45](http://www.pref.saga.lg.jp/dynamic/entry/pub/ansform.aspx?c_id=76&entry_ins=45)



## お問い合わせ先

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課 馬場

(住所) 佐賀市城内1-1-59

(電話) 0952-25-7062

(メール) danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp

## 男女の地位について

全員に

問1 あなたは、次にあげる ~ 分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
各分野にあてはまるものを1つずつ選んで をつけてください。

	女性の方が優遇 されている	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	平等	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	男性の方が優遇 されている
家庭生活	1	2	3	4	5
職場	1	2	3	4	5
学校教育の場	1	2	3	4	5
地域活動・社会活動の場	1	2	3	4	5
政治の場	1	2	3	4	5
法律や制度の上	1	2	3	4	5
社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5

全員に

問2 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要だ  
と思うことは何ですか。次の中から1つ選んで をつけてください。

- 1 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改める
- 2 性別によるさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改める
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る
- 4 女性の就業、社会参加を支援する体制・施設やサービスの充実を図る
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実する
- 6 学校教育において、社会や家庭における男女平等と相互理解についての教育を充実する
- 7 その他 具体的にお書きください

( )

## ◆家庭について

全員に

問3 あなたは、一般的に「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思いますか。

次の中から1つ選んで をつけてください。

御自身の希望ではなく、考え方の是非についてお答えください。

- |                  |   |                |
|------------------|---|----------------|
| 1 そう思う           | → | 問3 - 1へお進みください |
| 2 どちらかといえばそう思う   |   |                |
| 3 どちらかといえばそう思わない | → | 問3 - 2へお進みください |
| 4 そう思わない         |   |                |

問3で1または2と答えた方

問3 - 1 そう思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで をつけてください。

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから         | ) |
| 2 自分の父親も外で働き、母親は専業主婦だったから     |   |
| 3 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから  |   |
| 4 女性が家庭を守った方が、子どもの成長に良いと思うから  |   |
| 5 家事・育児と両立しながら女性が働くのは大変だと思うから |   |
| 6 その他（具体的にお書きください： _____      |   |
| 7 特にない                        |   |

問3で3または4と答えた方

問3 - 2 そう思わない理由は何ですか。次の中から1つ選んで をつけてください。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 性別による役割分担意識を押し付けるべきではないから      | ) |
| 2 自分の両親も外で働いていたから                |   |
| 3 夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから      |   |
| 4 女性も働いて能力を發揮したほうが、社会にとって良いと思うから |   |
| 5 夫も家事・育児に参画すれば、妻も働くことは可能だと思うから  |   |
| 6 その他（具体的にお書きください： _____         |   |
| 7 特にない                           |   |









全員に

問 8 - 1 あなたの職業環境は、次のどれにあたりますか。1～12のうち1つ選んでつけてください。

自営業者 (会社経営者含む)	1 農林水産業 2 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 3 自由業(開業医、弁護士等)
家族従業者 自営業者の家族でその自営業者の営む事業に無給で従事している者	4 農林水産業 5 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 6 自由業(開業医、弁護士等)
雇 用 者 会社、団体、自営業者等に雇われて給料を得ている者及び会社等の役員	7 会社役員・管理職 8 専門職・技術職 9 一般職
無 職	10 主婦・主夫 11 学生 12 その他の無職

雇 用 者 ( 7 ~ 9 ) にあたる場合は、下の欄の1～3のうち1つ選んでつけてください

雇用形態は	1 正社員 2 非正規社員(派遣・契約社員・パート・アルバイトなど) 3 その他 具体的にお書きください ( )
-------	---

職業を持っている方

問 8 - 2 あなたが現在職業を持っているのはどういう理由からですか。次の中から主な理由を2つまで選んでつけてください。

1 家業だから	8 社会の役に立ちたいから
2 生計を維持する必要があるから	9 生きがいを得たいから
3 住宅ローンや借金を返す必要があるから	10 働くのは人間として当たり前だから
4 将来に備えて貯蓄する必要があるから	11 仕事が好きだから
5 経済的に自立する必要があるから	12 時間に余裕があるから
6 自分の自由になるお金が欲しいから	13 その他 具体的にお書きください
7 自分の能力、技術、資格を生かしたいから	( )

職業を持っていない方

問 8 - 3 あなたが現在職業を持っていないのは、どのような理由からですか。次の中から主な理由を2つまで選んでをつけてください。

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 家庭にいるのが家庭生活のためにいいから | 8 自分に適した仕事がないから          |
| 2 家事も立派な職業だから         | 9 働く場所や仕事がないから           |
| 3 年をとったから。退職したから      | 10 結婚、育児に会社の理解が得られなかったから |
| 4 生活に困らないから           | 11 特に理由はない               |
| 5 自分の健康状態が思わしくないから    | 12 その他 具体的にお書きください       |
| 6 家事・育児との両立が困難だから     | ( )                      |
| 7 病人や老親などの世話(介護)があるから |                          |

職業を持っていない方

問 8 - 4 あなたは今後、職業を持つことについてどう思いますか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| 1 今求職活動をしている  | → 問 8 - 4 - 1、問 8 - 4 - 2 へお進みください |
| 2 いずれ職業を持つつもり |                                    |
| 3 職業を持つつもりはない |                                    |
- 問 9 へお進みください

問 8 - 4 で 1 または 2 と答えた方

問 8 - 4 - 1 あなたが職業を持つ場合には、どのような点を重視して仕事を選びますか。次の中から主なものを2つまで選んでをつけてください

- |                               |                    |
|-------------------------------|--------------------|
| 1 能力や技術、資格が発揮できる              | 7 今の自分の能力ですぐできる    |
| 2 収入がよい                       | 8 家庭生活と両立できる       |
| 3 勤務時間が自分の生活に合っている            | 9 地元である            |
| 4 各種社会保険や厚生施設が整っている           | 10 スキルアップ・自己成長できる  |
| 5 通勤に便利である                    | 11 特にない            |
| 6 会社の経営と雇用上の身分が安定していて、長く勤められる | 12 その他 具体的にお書きください |
|                               | ( )                |

問8-4で1または2と答えた方

問8-4-2 あなたが職業を持つとすれば、どのような形態が望ましいですか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1 事業主（自分で経営）                 | 4 家業（店舗や農林水産業など）の手伝い |
| 2 正社員                        | 5 その他 具体的にお書きください    |
| 3 非正規社員（派遣・契約社員・パート・アルバイトなど） | （ ）                  |

全員に

問9 あなたは、女性が職業を持つことについて、どう思いますか。次の中から1つ選んでをつけてください。

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 ずっと職業を持っている方がよい                           | → 問10へお進みください                 |
| 2 結婚するまでは職業を持ち、<br>あとは持たない方がよい              | } → 2～5を選ばれた方<br>問9-1へお進みください |
| 3 子どもができるまで職業を持ち、<br>あとは持たない方がよい            |                               |
| 4 子どもができたら職業を中断し、子どもに<br>手がかからなくなって再び持つ方がよい |                               |
| 5 ずっと職業を持たない方がよい                            |                               |
| 6 その他                                       | → 問10へお進みください                 |
| （具体的にお書きください： ）                             |                               |

問9で2～5を選んだ方

問9-1 あなたが問9で、2～5のいずれかを選んだ理由は何ですか。次の中から主な理由を2つまで選んでをつけてください。

全員に

- |   |   |
|---|---|
| 1 女性は家事・育児・介護に専念し、家庭を守るべきだから                  |   |
| 2 女性は定年まで働き続けにくい雰囲気だから                        |   |
| 3 女性の能力は正當に評価されないから                           |   |
| 4 育児休業などの仕事と家庭が両立できる制度があっても、利用できる職場の雰囲気ではないから |   |
| 5 現在ある仕事と家庭が両立できるための制度だけでは不十分だから              |   |
| 6 保育や介護などの施設が整っていないから                         |   |
| 7 その他（具体的にお書きください：                            | ） |



問 13 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」のうち、あなたが理想とする優先度について、最も近いものを次の中から1つ選んでをつけてください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」を同じくらい優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先したい

全員に

問 14 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の現状（現実）について、次の中から最も近いものを1つ選んでをつけてください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」を同じくらい優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先している

全員に

問 15 問 13、問 14 の理想と現実の差を埋め、理想の生活を実現していくためには、どのようなことが必要ですか。次の中から主なものを3つまで選んでをつけてください

在職中または在職経験のある方

- 1 長時間労働の解消
- 2 育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境づくり
- 3 育児休業・介護休業中の賃金の充実
- 4 保育サービス（病後時保育、放課後児童クラブ等）・介護サービスの向上
- 5 出産・育児・介護等の理由で退職した職員の再雇用制度の導入
- 6 在宅勤務やフレックスタイム（自身で出退勤時間を選択できる）制度などの導入
- 7 働くこと・働かないことへの家族や周囲の理解と協力
- 8 家事や育児に対する職場や家族の理解と協力
- 9 家計が維持できる経済力
- 10 その他（具体的にお書きください： )

問 16 あなたは、過去5年間の間に、職場においてセクシュアルハラスメントやパワーハ

ラスメント等のハラスメントにあったことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに   をつけてください。

1  ない	→	問 17 へお進みください
2  セクハラにあったことがある	}	→ 問 16 - 1 へ お進みください
3  パワハラにあったことがある		
4  出産や育児に関するハラスメントにあったことがある		
5  その他ハラスメントにあったことがある		
( 具体的にお書きください： )		

ハラスメントにあったことがある方

**問 16 - 1** あなたは職場において、ハラスメントにあった際にどこかに相談したり、被害を訴えたりしましたか。次の中からあてはまるものすべてに   をつけてください。

1  職場の相談窓口相談した
2  人事等の職場の担当部署（相談窓口を除く）に相談した
3  公的な機関（労働基準監督署や労働局等）に相談した
4  同僚や上司に相談した
5  家族や社外の友人に相談した
6  弁護士に相談した
7  退職した
8  しばらく休んだ
9  何もしなかった
10  その他（ 具体的にお書きください： )

全員に

**問 17** あなたは、職場におけるハラスメントをなくすため、防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで    をつけてください。

1  職場における相談窓口の設置
2  職場における苦情処理機関の設置
3  職場における研修等の実施
4  就業規則などの社内規定へハラスメント禁止事項を盛り込む
5  啓発資料の配布または掲示
6  職場における実態把握のためのアンケート調査等の実施
7  再発防止のための取組の実施
8  一般的な啓発や講演会等の実施
9  その他（ 具体的にお書きください： )

## ◆社会における活躍について

全員に

問 18 あなたは、自分自身が管理職等への登用や企画・方針決定の場に参画することを望みますか。～の各項目にあてはまるものを1～4から1つずつ選んでをつけてください。

また、～において、3または4と答えた方はその理由を下記理由選択肢一覧から主なものを2つまで選んで、理由記載欄に番号を記載ください。

自分がその環境にいると想定してお答えください。

3または4を選んだ方のみ理由を下記から選択し記載ください

	望む 自ら	就 された	依 頼	望ま ない	自ら は	も 断る	依 頼	欄	記 載	理 由
職場の管理職	1	2		3		4				
P T A会長、こども会会長	1	2		3		4				
自治会長、町内会長	1	2		3		4				
自治体の審議会や委員のメンバー	1	2		3		4				
国や地方自治体の議員	1	2		3		4				

(理由選択肢一覧) 上記～において、3または4と答えた方のみ下記から選択し、上記理由記載欄に番号を記載ください。

- 1 知識や能力の面で不安があり、やれる自信がないから
- 2 責任が重いから
- 3 興味がないから
- 4 時間的に余裕がないから
- 5 経済的に余裕がないから
- 6 家族の理解や協力が得られないから
- 7 子育てと両立できる環境が整備されていないから
- 8 性別によって不利・不当な扱いを受けそうだから
- 9 男性の役割だと思うから
- 10 女性の役割だと思うから
- 11 どうやったらいいかわからないから
- 12 周りにやっている人がいないから
- 13 もし、自分になったとしたら少数派となり、いろんな困難がありそうだから
- 14 その他 その他を選んだ選択肢の番号(～)を記載した後、具体的にお書きください

[ ]

全員に

問 19 あなたは、政治や行政、企業などのさまざまな分野において、管理職等への登用など企画や方針決定の場に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 職場や社会において、性別に基づく差別的な意識や慣行がある      |
| 2 企業経営者や団体・機関等トップの女性登用に対する意識が欠如している |
| 3 家族の理解・支援・協力が得られない                 |
| 4 女性の能力開発の機会が不十分                    |
| 5 女性自身の積極性や自信が不十分                   |
| 6 ワーク・ライフ・バランスが保てる環境が整備されていない       |
| 7 女性参画の必要性を感じている人が少ない               |
| 8 その他 具体的にお書きください：<br>( )           |

全員に

問 20 あなたは、次の ~ あげる役職に、今後女性が増えたほうが良いと思えますか。各項目に、あてはまるものを1つずつ選んでをつけてください。

	そう 思う	そう 思う と ど ち ら か	な い そ う 思 わ な い ど ち ら か	な い そ う 思 わ な い
閣僚（国務大臣）	1	2	3	4
知事や市町長	1	2	3	4
国会議員、県・市町の議会議員	1	2	3	4
県・市町の審議会や委員会の委員	1	2	3	4
県・市町など役所の管理職	1	2	3	4
小・中・高校の校長、副校長、教頭	1	2	3	4
大学教授・学長	1	2	3	4
裁判官・検察官・弁護士	1	2	3	4
医師、歯科医師	1	2	3	4
農協など団体の役員	1	2	3	4
会社・施設の管理職	1	2	3	4
会社・施設の経営者・起業家	1	2	3	4
自治会長・PTA会長	1	2	3	4

## ◆配偶者からの暴力について

全員に

問 21 あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次の ~ のことをされた経験がありますか。次の ~ の各項目にあてはまるものを 1 つずつ選んで をつけてください。

	以上 週に 1 回	程度 月に 数回	程度 年に 数回	ある 過去 数回	ない ま った く
命の危険を感じるぐらいの暴力を受けた	1	2	3	4	5
医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	1	2	3	4	5
医師の治療は必要ない程度の暴力を受けた	1	2	3	4	5
望まないのに性的な行為を強要された	1	2	3	4	5
妊娠を望まないのに、避妊してもらえなかった	1	2	3	4	5
何を言っても長期間無視され続けた	1	2	3	4	5
交友関係や電話、メール等を細かく監視された	1	2	3	4	5
大声でどなられたり、威圧的な物言いをされた	1	2	3	4	5
馬鹿にされたり、暴言を吐かれた	1	2	3	4	5
生活費を渡さないなど、経済的に押さえつけられた	1	2	3	4	5

問 21 の①～⑩でひとつでも 1～4 を選んだ方に

問 21 - 1 経験した際、誰かに相談しましたか。あてはまるものに をつけて ください。

- |           |   |                   |
|-----------|---|-------------------|
| 1 相談した    | → | 問 21 - 2 へお進みください |
| 2 相談しなかった | → | 問 21 - 3 へお進みください |

問 21 - 1 で「1 相談した」と答えた方に

問 21 - 2 どこに相談しましたか。次の中から あてはまるものすべてに をつけてください。(電話・面談いずれでも)

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 アバンセ(女性総合相談、男性総合相談)      | 8 性暴力救済センター・さが(さが mirai) |
| 2 婦人相談所                    | 9 病院                     |
| 3 警察                       | 10 家族                    |
| 4 法テラス                     | 11 友人                    |
| 5 県の保健福祉事務所                | 12 職場やサークル等の仲間           |
| 6 市の福祉事務所や市町の相談窓口          | 13 その他 具体的にお書きください       |
| 7 民間の相談機関(NPO 被害者支援ネット ( ) |                          |

ワーク佐賀 VOISS 等)

問 21-1 で「2 相談しなかった」と答えた方に

**問 21 - 3 相談しなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。**

- 1 相談するほどのことではないと思った
  - 2 自分に原因（悪いところ）があると思った
  - 3 自分が我慢すれば、何とかやっていけると思った
  - 4 相談しても無駄だと思った
  - 5 世間体が悪い、恥ずかしいと思った
  - 6 相手の行為が愛情表現だと思った
  - 7 どこに（誰に）相談してよいか分からなかった
  - 8 相談したことが分かった時の仕返しが怖かった
  - 9 別れた後、自分だけでは生活できないと思った
  - 10 暴力は嫌だったが、相手のことを愛していたから別れることになるのが嫌だった
  - 11 その他 具体的にお書きください
- ( )

全員に

**問 22 望まない妊娠を防ぐためには、どのようなことが大事だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。**

- 1 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施
- 2 女性のための相談窓口の整備
- 3 妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供
- 4 女性専門外来の充実
- 5 P T A 等に呼びかけるなど、保護者の意識啓発
- 6 その他（具体的にお書きください： )

全員に

問 23 男女間における暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口の増設
- 2 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育や防止支援プログラムでの指導
- 3 学校で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育
- 4 加害者への罰則の強化
- 5 警察による介入・指導の強化
- 6 暴力を助長する恐れのある情報（テレビ番組、雑誌、ゲームソフト等）の取締りの強化
- 7 暴力を振るったことのある者に対し、再発防止のための教育
- 8 メディアを活用した広報・啓発活動の強化
- 9 被害者を発見しやすい立場にある学校・警察や医療関係者などに対する研修や啓発
- 10 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどの実施
- 11 その他（具体的にお書きください： \_\_\_\_\_）

#### ◆男女共同参画社会の実現について

全員に

問 24 あなたは、県や市町の行政機関は男女共同参画社会づくりのために何をすべきだと思いますか。次の中からあなたの希望するものをすべてにをつけてください。

- 1 「男女共同参画基本計画」や「男女共同参画推進条例」の策定・改定
- 2 各種審議会など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 3 各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成
- 4 学校教育における男女の平等と相互理解・協力についての教育の充実
- 5 企業や団体等のトップを対象とした男女平等や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する意識啓発の充実
- 6 男女共同参画推進に関する情報提供、学習・研修、交流のための拠点機能の充実
- 7 女性向けの職業能力の開発や、職業訓練機会の充実
- 8 保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設や介護サービスの充実
- 9 女性に対する暴力を根絶するための施策の推進
- 10 女性のための相談窓口の設置及び相談機能の充実
- 11 広報紙やパンフレットなどでの、男女の平等と相互の理解や協力についての啓発
- 12 そ の 他 （ 具 体 的 に お 書 き く だ さ

い： )

**【全員に】あなたご自身のことについておたずねします**

F1 あなたの性別は ( は1つ)

1 女性	2 男性	3 その他
------	------	-------

F2 あなたの年齢は ( は1つ)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

F3 配偶者(パートナー)がいますか 事実婚を含む ( は1つ)

1 配偶者(パートナー)あり	
2 配偶者(パートナー)と離別	
3 配偶者(パートナー)と死別	
4 未婚	

F4 (F3で「1.配偶者(パートナー)あり」)に を付けた方のみお答えください。)

あなたの配偶者(パートナー)の職業は、次のどれにあたりますか。1～12のうち1つ選んで をつけてください。 出産休暇や育児休業中の方も、働いているものとお考えください。

自営業者 (会社経営者含む)	1 農林水産業 2 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 3 自由業(開業医、弁護士等)
家族従業者 自営業者の家族でその自営業者の営む事業に無給で従事している者	4 農林水産業 5 商工サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業) 6 自由業(開業医、弁護士等)
雇 用 者 会社、団体、自営業者等に雇われて給料を得ている者及び会社等の役員	7 会社役員・管理職 8 専門職・技術職 9 一般職
無 職	10 主婦・主夫 11 学生 12 その他の無職

雇用者(7～9)にあたる場合は、下の欄の1～3のうち1つ選んで をつけてください

雇用形態は	1 正社員
-------	-------



F7

その他、男女共同参画社会についての御意見や要望等がありましたら、下欄に御自由にお書きください。

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。  
同封の回収・返信用封筒にこの調査票をお入れいただき、  
直接ポストに投函してください。

男女共同参画社会づくりのための佐賀県民意識調査報告書  
令和2年4月

発行 佐賀県健康福祉部男女参画・こども局  
男女参画・女性の活躍推進課  
〒840-8570 佐賀市城内 1-1-59  
電話 0952 (25) 7062